

## 議事録（無記名・要点記録）

### 第5回南砺市環境審議会 会議録

開催日時 令和3年12月1日（水）午後2時30分～4時30分  
開催場所 南砺市役所本庁舎3階302会議室  
出席委員 8名  
事務局出席者 総合政策部長、エコビレッジ推進課2名  
委託業者氏名 エヌエス環境(株)2名

会議次第 1 開 会  
2 会長あいさつ  
3 議 事  
（1）第2次南砺市環境基本計画最終案について  
（2）望ましい環境像について  
（3）その他  
4 閉 会

#### 【質疑応答，意見】

（1）第2次南砺市環境基本計画最終案について

##### ①環境指標の設定

・指標の「林道・作業道の延長」について、単位がmになっているがkmでよいのでは。林道と作業道は区分してほしい。

⇒単位はkmの表示とする。

・指標の「集団化団地数」について、目標値が現状から減少の数字となっている。これには理由があり、効率性の面から団地を集約化した、大団地化という目標を持っているため。一つの団地で現在は30haであるが、これから100haとしたいため目標値が減っている。減っている理由が分かるようにコメントに追記した方がよい。

⇒減少理由がわかるようにする。

・指標の「間伐面積」について、目標値が年間200haでは少ないと思う。石川県七尾市では5年間で2,000haの目標を立てている。山の崩壊を防ぐにはもっと間伐を進める必要がある。杉ではなく、昔のブナとかナラの山に戻すのがよい。

・R13年（2031年）が目標年に設定されているが、2030年のCO2排出量50%削減を達成するのに十分な数字であるかについては、色々意見が出ると思われる。今年1年で国の方針等が大きく変わっているため、大きく含みを持たせた表現が良いところもあり、例えばグラスゴー気候合意にある「野心的」という言葉を2章のどこかに入れてもよいのでは。

- ・5年毎等に計画を見直すことは必要である。石川県金沢市では3年毎に見直すこととなっている。
- ・指標の目標が10年後というのは決められた時期か？  
⇒10年計画を立てるということは決まっている。
- ⇒見直しの時期については、現行の計画でも中間の5年で指標の確認を行っており、今回の計画でも10年の途中段階で指標の見直しは行っていく。
- ・指標の数字は毎年チェックしていくのか。5年ではなく、2～3年でも指標の見直しが必要なものはあると思われるので、そういうものはその都度見直しを行っていく必要がある。
- ・「必要に応じて計画を見直す」という文章について、もう少し強い表現にした方が良い。例えば、「激しい世界的な変化に対応できるように」という表現を入れてはどうか。  
⇒指標の見直しだけではなく、社会情勢の変化に応じて施策も展開するというを追記する。
- ・チェックする仕組みは？  
⇒毎年の指標のチェックと、指標・施策を見直した時にこのような審議会でご意見を頂きたいと考えている。
- ・グラスゴー気候合意を踏まえて考えると、今回計画の指標目標値で本当に脱炭素が達成できるのか不明なところもある。今後、機動的に見直しを行っていくことを機能として盛り込んであれば、今回の指標はこれでよいと思われる。
- ・取組方向の中で指標が設定されていないところがあるのはなぜか？  
⇒取組方向が抽象的な表現のものもあり、具体的な指標の設定が難しい。他の取組方向も含めた上部の施策目標のところで進捗を確認していくことになる。

## ②概要版

- ・概要版の方は環境基本計画とともに市民にわたっていくものなのか？  
⇒環境基本計画も概要版も南砺市のホームページで公開するため、閲覧できる。
- ・概要版で掲載している環境指標について、市民の立場で見た場合に目標数値が小さいと感じるものがある。市民の意識が向上するように、概要版に掲載する環境指標を再検討する必要がある。
- ・概要版で掲載している環境指標については、概要版を見た市民の意識が変わるようなものがよく、ピックアップするものを再検討する必要がある。
- ・概要版で掲載している環境指標について、施策目標毎に掲載されていないものもあるので、対応がとれて、わかりやすくするため、環境指標の選定を事務局の方で再検討するように。例えば施策目標の「脱炭素に向けた取組の推進」に対しての環境指標は取り組みに関わる、何かわかりやすいものになっていた方がよい。
- ・概要版で掲載している環境指標は市民が取り組める内容のものがよい。

- ・概要版という言葉ではなく、サブタイトルとして概要版にかわるやわらかい言葉を入れた方がよい。

## (2) 望ましい環境像について(数字は資料の環境像案に記載の番号)

⇒南砺市の未来を受け継いでいく、中学生、高校生から環境像のキャッチフレーズの意見を聞いた方がよいという意見があった。今回の計画のこどもアンケートは中学2年生が回答している。そしてSDGsの出前講座等でエコビレッジ推進課と関わりをもった3校の中学2年生に依頼した。130件の応募があったものから選んだものの中に入っている。

- ・⑬は保全がなくてもよいのでは。また、「一流の田舎」という言葉は用いない方がよいのでは。
- ・「一流の田舎」は、定義を説明しないと、難しくて誤解を招く恐れがあるため、環境基本計画では使わないほうがよいのでは。
- ・キャッチフレーズに、「南砺市ならではの」という言葉が入っていた方がよい。また、キャッチフレーズを見て、「南砺市」と思わせるものがよい。
- ・「新たなものを作るより、今のものを守っていくことも大切」が南砺市だと思う。
- ・概要版の1ページの上4行について、「個性豊かな景観、文化、産業が存在」のところは違和感があるので、個性豊かではなく、個性が光るに変更した方がよい。「未来の世代に継承する」のところは、受ける側が使う言葉なので、「つなげる」という言葉がよい。これらを環境像に反映させてはどうか。文化という言葉は使わない方がよいのでは。

—各委員がキャッチフレーズを提案、それについて意見交換—

- ・「豊かな自然と個性光る文化を未来へつなぐまち なんと」の意見が出たが、よろしいか。

⇒(各委員)同意。

## (3) その他

・本日の審議会が最終。この後、指標の表記や概要版の扱いなどの修正があるが、微修正については会長預かりとしてご了承いただけるか。

- ・(各委員)同意。
- ・この後は、環境審議会から市長への答申ということになる。答申の内容の案は、
  - 1、地球温暖化対策については世界や国の動向に即しながら計画の見直しを踏まえて取組を進めること。
  - 2、市民・事業者に対してこの計画を多様な手段を通じて普及をはかるとこと。
  - 3、各主体の自主的な取組や連携を進め、地域が一体となった環境配慮行動の実践に努めること。
  - 4、地域の自然資源や産業の特性を生かした地域循環の実現に向けて市民・事業者・滞

在者等が一体となった取組を推進すること。  
などを意見させて頂きたいと思う。この他にも意見はないか。

- ・(各委員) 特になし。
- ・この原案通り答申させていただく。

※「・」は委員の発言、「⇒」は事務局等の発言